

2017（平成29）年度事業計画（案）

2017（平成 29）年事業計画

目次

- I ラグビーワールドカップ 2019 大会準備主要スケジュール

- II 広報活動による機運醸成や開催都市プロモーション事業の実施
 - 1 広報・普及プロモーション
 - 2 府内の都市魅力を活かした集客や地域活性化につながる取組み

- III 円滑な大会開催に向けた条件整備

- IV 推進委員会参画団体等との協力、連携方策の検討

2017（平成29）年度 事業計画

I ラグビーワールドカップ2019大会準備主要スケジュールと事業実施方針

年度	2017（平成29）年度	2018（平成30）年度	2019（平成31）年度
主要行事	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月10日 ・大会予選プール組分け抽選会 ● 秋 ・試合日程発表 ・2年前イベント ● 秋 ・チケット料金発売情報発表 ● 夏 ・公認チームキャンプ候補地決定 ● 秋～2018年春 ・チームによる実地視察（1回目） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2018年春 ・ボランティア募集 ● 2018年春 ・先行チケット発売情報発表 ● 2018年春～ ・公認チームキャンプ地決定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 9月20日～11月2日 ・大会開催期間 ● 夏以降 ・一般チケット発売 ● 2018年秋～2019年春 ・チームによる実地視察（2回目）
広報活動の展開			

2017（平成29）年度 事業実施方針

2017年度は、組分け抽選や試合日程の発表、さらには公認チームキャンプ候補地の決定、ボランティア募集など大会運営に向けた重要な事項が打ち出されます。

このため、当委員会では、昨年度に続き、大会開催に対する認知度の向上に努めるとともに、大会に向けた期待感を高め、参加意識を促すよう、広報活動等を展開してまいります。

また、大会開催2年前となることから、大会の円滑な運営に向け、開催都市としての各種計画策定等とその具体化といった準備活動に鋭意取り組むとともに、推進委員会参画団体との一層の協力、連携体制によりまして、大会の成功と府内各地での盛り上がり、賑わいづくりに努めてまいります。

重点項目

◆さらなるサポーターの獲得

府域全体に、大会開催を浸透させるため、広報活動を展開し、大会公式サポーターズクラブの登録者5万人増加をめざし、ファン層の拡大を図ります。そのため、推進委員会参画団体にも、積極的な大会開催周知や大会公式サポーターズクラブ登録へのご協力のもと、プロモーション活動を展開します。

◆万全な受入体制の構築

大会開催に向けた情報発信サイトの構築や交通輸送計画等の策定にあたっては、部会を設置し、推進委員会参画団体にもご参加をいただき、大会成功に向けた受入体制の構築を図ります。

II 広報活動による機運醸成や開催都市プロモーション事業の実施

1 広報・普及プロモーション

① 大会予算プール組分け抽選会のタイミングを活用したプロモーション展開

5月10日の京都迎賓館での大会予算プール組分け抽選会（プールドロー）の開催に合わせて、府内各所でのポスター掲示等による大会開催周知プロモーションを展開します。

実施にあたっては、本委員会構成団体の保有施設や媒体などへも掲載協力いただき、府域全体にポスターを掲示し、大会開催の周知・認知度向上を図ってまいります。

また、大会関連行事の機会に合わせ、空港、駅ターミナル等での広告サイン、タペストリー・バナーの設置やデジタルサイネージにより、大会に向けた賑わいづくりを進めます。

② 試合日程発表及びチケット情報発表等のタイミングを活用したプロモーション展開

今秋に予定されている試合日程発表やチケット情報発表といった大会開催への重要な節目を活用し、大会開催周知のためのプロモーションを展開します。

具体的なプロモーションの内容については、効果的な実施を図る観点から、提案公募により事業者を選定の上、決定します。

③ ラグビーワールドカップ 2019 大会公式サポーターズクラブ登録者獲得

RWC2019 組織委員会が運営する「大会公式サポーターズクラブ(無料メールマガジン)」では、平成29年12月末までに40万人登録者数を目標としています。

このサポーターズクラブは、大会に向けた開催都市における盛り上がり度合いを示す指標となっており、今後、チケット情報を発信していく重要なツールにも位置づけられています。

このため、本委員会構成団体のご協力のもと、ラグビーの聖地・花園に相応しいファン（登録者）獲得数に向けてさらなる周知を図ってまいります。

※大阪の獲得目標数は、5.6万人です。

(サポーターズクラブ登録促進活動)

- ・本委員会構成団体の職員や関係者等への会員登録の協力依頼
- ・本委員会構成団体HP、広報誌等の各種情報発信媒体への掲載協力
- ・ラグビー協会の協力のもと、ラグビー競技者や指導者等のラグビーファミリーへの登録活動の展開

④ 連携・連動型プロモーション活動

トップリーグ、全国高校ラグビー大会をはじめ、他団体の取組み、ラグビー以外のスポーツイベントの開催に合わせて、大会の認知度を高めるためのプロモーション活動を展開します。

プロモーションにあたっては、本委員会構成団体にもご協力頂き、イベントや広報等のさまざまな場面において、PR活動を展開いたします。

2 府内の都市魅力を活かした集客や地域活性化につながる取組み

多言語対応の情報発信サイトを構築し、花園ラグビー場で開催されるラグビーワールドカップ 2019 に関する情報、開催都市の情報や魅力を内外に向けて発信していきます。

Ⅲ 円滑な大会開催に向けた条件整備

1 交通輸送計画の策定

大会開催時の会場への来場者輸送の安全かつ円滑な実施を目的に計画を策定します。2016年度実施した基本調査において把握した基礎データや課題をもとに、RWC2019 組織委員会等の関係機関等との協議・調整を行い、開催時の交通輸送の基本計画をとりまとめます。

2 ファンゾーン運営計画の策定

RWC2019 組織委員会が提示する「ファンゾーンポリシー」をもとに、大会開催時にパブリックビューイングや関連イベント、スポンサーブースを設け、試合とともにラグビー関連のアクティビティが楽しめる「ファンゾーン」の設置を検討し、運営計画をまとめます。

3 花園ラグビー場芝生品質調査の実施

2016年度実施したスタジアムの芝の品質調査について、継続して状態を調査し、大会開催時に向けた最適な芝生管理につなげていきます。

4 大会ボランティア募集に向けた管理システム構築について

大会時に運営をサポートするボランティアの募集にあたり、活動を一元的に管理するためのシステムを構築します。また、ボランティアの募集・管理・育成方法などを、RWC2019 組織委員会と調整します。

5 大会用仮設設備等整備計画の策定

大会時に仮設設備として対応するスタジアム設備（大型ビジョン 1 基、立見席の仮設個席対応、ICT 設備）、会場周辺の雑踏対策・誘導設備などの設置について検討し、必要な対応を計画としてとりまとめます。

IV 推進委員会参画団体等との協力、連携方策の検討

大会開催時の大阪来訪者の受入れに必要な方策、府内各地の都市魅力資源を活用した集客や地域活性化につながる事業について、推進委員会参画団体のご提案やご意見を集約し、今後の委員会の取り組みにつなげます。

(具体的取り組み)

◆検討部会の設置（部会名称は仮称）

○ 交通輸送部会

大会開催期間中、会場を訪れる多数の観戦者、選手・VIPなどの大会関係者に対して、安全、確実、快適な交通手段を提供できるよう、来場者予測に基づき輸送供給力、輸送ルート等を検討します。

○ 観光おもてなし部会

大会開催期間中、国内外から訪れる観戦者に向けて、開催地「大阪」の魅力的な地域資源（観光・食・体験など）をアピールし、来訪意欲を喚起するよう、『おもてなし』プログラムを検討します。